

- 【相談内容】
- 住まいの相談
 - 仕事の相談・情報提供
 - 暮らしの相談（行政窓口へのつなぎ）
 - 情報発信（ホームページ、フェイスブック等での情報発信、イベント等での出張相談）

「高島市で暮らしてみたい」という希望をお持ちの方を、地域の担い手として迎えるため、平成21年度から定住相談窓口を開設し、定住相談員を設置してきました。年々、相談件数や定住実績が増加しており、今年度からは相談員を1名から2名体制に増員し、名称を「移住・定住コンシェルジュ」として、仕事の情報収集と情報発信の強化等に取り組んでいます。

まずはこちらへご相談ください 移住・定住コンシェルジュ



高島で暮らそう

検索



定住応援サイトや、facebook ページを開設し情報を発信しています!

■ 定住相談窓口への相談状況・定住実績

	H 21 年度	H 22 年度	H 23 年度	H 24 年度	H 25 年度	H 26 年度	合計
相談者件数	48件	70件	100件	83件	84件	139件	524件
定住実績	6世帯 (13人)	13世帯 (30人)	22世帯 (43人)	25世帯 (47人)	25世帯 (66人)	30世帯 (81人)	121世帯 (280人)

年々増加しています!



《 私たちがご相談に対応させていただきます 》

Concierge

栗原 恵子 (くわはら けいこ)
コンシェルジュ



(ひとこと)

年齢と共に、べんがら古民家が好きになってきました。住宅探しを中心に移住希望者の方と高島を回っています。

お住まいのご相談からゴミの出し方まで、移住者の方の何でも窓口をさせていただきます! もちろん、市内の情報発信と各地域の様子や、高島での子育ての魅力をお話させていただきます。

Concierge

山川 貴正 (やまかわ よしまさ)
コンシェルジュ



(ひとこと)

5年前に高島へUターンしました(^^) 市外に30年間住んでいた経験を活かして、移住者の支援を行っていきたくと思っています。

住まい相談以外に職業紹介・求職相談を行っています。「高島で暮らそう」ホームページ、フェイスブック等の情報発信の担当もしています。

保育料の軽減
(国基準の平均50%)

中学生までの
医療費無料!

50年、100年先も
活気に満ちた持続可能な地域であるために

高島で暮らそう!

特集

移住・定住の促進と地域おこし協力隊による地域活性化

市では平成20年度に若者定住促進条例を制定し、若者や子育て世代の定住・定着につながるよう住宅確保の支援、就労および起業の支援、子育て環境の向上などについて重点的に取り組んでいます。

特に住宅確保の支援制度や中学生までの医療費(自己負担分)の無料化、保育料の軽減(国基準の平均50%)など、若者が子育てしやすい環境を整備を進めています。

また、人口減少・超高齢化という日本が直面する課題に立ち向かうための指針となる地方創生総合戦略の先行的な取り組みとして、「高島市への新しい人の流れをつくる」ことを目標に、移住・定住の取り組みを強化していきます。

今回は、移住・定住の取り組みと新たに着任された地域おこし協力隊員をご紹介します。

※住宅確保の支援制度について、詳しくは広報たかしま5月号を、地方創生総合戦略の策定について、詳しくは広報たかしま6月号をご覧ください。

定住相談窓口は、市役所2階 企画調整課内にあります。お気軽にご相談ください。

はじめまして! 地域おこし協力隊です!



マキノ北部地域で活動します。よろしくお願ひします。

海のまちから湖のまちへ… 高島の魅力を探る

太田 彩さん (平成 27年6月1日任命)

●出身 長崎県佐世保市 ●年齢 23歳

海のまちから湖のまちへ単身やってきました。高島では、道を歩いていると、いろんな方が声をかけてくださるので、独りという感覚は全然ないです。きれいな水とそれを育む山や森を守りながら、地域の方や移住されて来た方が「独りで寂しい」と感じないようなつながりづくりをコツコツ取り組んでいます。一緒に高島の魅力を発見しましょう!

●地域おこし協力隊とは

外部からの人材を集落へと誘致し、実際にその生活を体感しながら活動することによって、地域に適した活性化を提案・実行する役割を担っています。移住者・区民・行政・個人、どの立場からの視点でも物事を見ることができるのが「地域おこし協力隊」です。環境や地域資源を活かし、地域にあるものに価値を見出す、「あるものを活かしていくまちづくり」に取り組んでいます。



今年度こんなことに 取り組みます

- ・地域維持活動(普請等)を都市の若者の参加を得て支援する活動
- ・休耕田の活用の検討
- ・地域イメージの確立
- ・地域活動等の情報発信

今後、活動内容などをお伝えしていきます。

←隊員の太田さんは、地区の総会や、柏餅づくりなどの行事にも参加しています。

太田隊員が来てくれて…

地域が明るく活気づく。今後は地域課題解決に期待。

太田隊員が着任して、地域の雰囲気が明るくなりました。地域活動では、若い人がいるだけで、活気が出たように思います。普段の生活の中では、日中、地域の中で活動している人が少ない中で、太田隊員の活動が地域に活気をもたらしてくれています。また、太田隊員が活動する姿を見て、地域の中でも「頑張っているなら、我々も。」という思いが芽吹き始めています。

今後は、区の行事に積極的に参加いただき、区のことをもっと知りたいです。区を知ってもらい、区に溶け込んでくれることが、地域の活力につながると思います。地域とともに活動し、また話し合うことで、地域課題を解決していければ、と思っています。

マキノ町 野口区長
河野 秀雄さん



企画調整課 ☎(25) 8114

私、移住してきました

定住相談を受けて高島に移住された方にインタビューしました



かんばら みき
神原 未来さん
(1年前に高島市に移住)

●高島に移住したきっかけは何ですか?

高島市内で開催される「風と土の交響」というイベントにスタッフとして参加していました。そうした中で、高島市の空き家紹介システムに登録されていた古民家を見て、「これだ!」と思い、移住を決断しました。

●実際に暮らしてみようと思うですか?

静かな環境で、以前の住まいとは違い、ゆとりをもって暮らすことができます。また、住まいは築百年を超えますが、これまで大切に管理されてきたように、私も家に愛情を持って暮らしていきたいと思っています。そして、地域の活動にはできるだけ参加しています。地域の方にとってもよくしていただいています。

●最後に一言お願いします。

今年1月、「大溝の水辺景観」が国の重要文化的景観に選定されました。大溝の水辺景観まちづくり協議会が立ち上がり、事務局員として、市内外にその魅力を発信しています。
高島びれっじ1号館に事務所がありますので、お近くにお寄りの際は、お気軽にお立ち寄りください!

びわ湖高島ブランド戦略推進事業

地域の魅力を発見し、取材して下さる方を募集します!

高島市の魅力を市外に発信し、まちの知名度や好感度をあげ、移住者や観光客等の誘導を図るびわ湖高島ブランド戦略推進事業を実施します。

その取り組みの一つとして、高島市の優れていることがらや、地域資源、期待感や好感度につながる魅力を取材してもらえ方を募集します。(無償の活動です。)

より良い取材を行うため、取材前にインタビューの仕方、写真撮影の基本を専門家から学ぶ講習会を開催しますので、取材経験のない方でもご参加いただけます。

高島の魅力を再発見したい方、発信したい方のご応募をお待ちしています。

- 取材期間 秋(9月~11月前半) 冬(11月後半~1月) 各6回程度
- ※秋だけ、冬だけの参加も可能です。
- ※グループごとに時間を調整しながら活動します。

- 対象者 15歳以上の方 (18歳以下の方は親の同意が必要です)
- 募集人数 18人程度
- 応募締切 8月12日(水)

☎企画調整課 ☎(25) 8114



帰省者の皆さん、高島へUターンをお考えではありませんか? Uターンをお考えの皆さん、高島について相談したいことや悩みはありませんか? 下記の日程で、「やっぱり高島! U・ターンの個別相談会」を開催します。「両親と一緒に暮らした」、「子どもが産まれるので、自然豊かな高島で子どもを育てたい」、「高島の仕事を報を知りたい。」等をお考えの皆さんのご相談をお受けします。ぜひお気軽にご来場ください。

- 日時 8月15日(土)、16日(日) 10時~16時
- 場所 高島市観光物産プラザ 視聴覚室
- 内容 暮らし、住まい、仕事等に関する個別相談会
- 参加費 無料
- ※当日参加も可能ですが、予約された方が優先となります。

帰省者の皆さん! この機会にぜひ やっぱり高島! U・ターンの個別相談会